

大規模学校（1,300人規模）について

施設一体という方向の中でどういう形が考えられるか。敷地が限られてたり、現在の施設の老朽化も考慮する必要がある

少人数の学級を実現するためにはより多くの教室が必要か。

小学校と中学校があわされば、単純に今の中学校の倍の広さが必要か。周辺地の用地買収を進める必要があると思う。それに伴う財源が必要。

理想としては、小学校と中学校のスペースを明確にしたうえで、共有スペースがあるといった施設

今の施設を生かすという方向は難しい。ただ教室だけがあればいいわけでなく、高さを出すという検討が必要か。

やりたいことが明確になれば逆算して床面積などが算定されるのではないかと思う。建設のタイミングで適切に広めにスペースを確保するということが必要か。

施設が一体となっているのか
敷地が一体なのかイメージが難しい

施設について 1

・ 教室、部屋

全体のイメージとして余裕のあるスペースがあり落ち着けるような施設が良い。四賀小学校と中洲小学校は山や畑などの自然があるが、新校舎でも実現されればよい。

学校に来るのが難しい児童生徒のための学びの場の確保も必要か。保護者も気軽に来ることができる場所が良いか。

職員室を校舎の真ん中に置くことと考えられる。

共有スペースを増やすことにより、体格差が大きなネックになり得る。調整できる設備だとしても限界があるか。

教室をオープンスペースにするといった考えもある。パーテーションなどで囲ったりオープンにしたり様々な使い方ができるとよい。その時には防音性にも配慮する必要があるか。

メリットデメリットを考えながら検討する必要があるか

教室を共有にした場合に小中学生の体格さをどう考えるか。例えば椅子などの設備を可変にするのを考えられるが、それを誰が調整するのか。

やはり専門的な教室は小中で分ける必要があるか。

特別教室は小中で一つにし、時間にわけて使い分けるうえで小中の日課がある程度揃っている必要があるか。

施設について 1

たくさんの給食を作ることを考えるとそれに対応できる給食室を作るのは難しいか。自こう給食を大事にはしつつ、そのあたりの検討も必要か。

自校給食を希望するが、その場合は給食室を考えなければならない

給食を取りにいくのが大人数になるほど困難になると思う。混雑するので時間差などの配慮が必要。何か所かで受け取れるなどの工夫が必要である。

子供たちにとつて給食は非常に重要な役割を持っている。

給食を児童生徒がとりにいくのではなく、例えば支援員さんが教室まで届けるというのも考えられるか。発想を大きく変えていく必要があるか。

図書館が共有スペースとして重要な役割を果たすと思う。

バリアフリーを意識した建物。例えばエレベーターなどがあると良いか。

トイレ清掃は国によつては大人の仕事としてされている。そのような発想により学びの場を考えていく必要があるか。

施設について 2

・ 体育館、グラウンド

体育館を二階建てにすることで小中学校で使い分けができるか。

全校集会を全体でやることを考えると体育館などをかなり大きくする必要があるか。

施設について 3

・ 地域、防災、環境

屋根に太陽光パネルをのせ、蓄電池を配備し、防災拠点としての役割を果たすことも重要か。電気を自給できる場所が必要

跡地を防災時の車中泊場所にするなども考えられるか。

電気が止まってもしばらくは自給できたり、ガラスを飛散防止のものにするなどが考えられる

防災拠点の観点から防災機能が充実した施設であるべき

施設について 4

・周辺整備、その他

小中学生が交流するフリースペースを各階に設けて、そこを起点に広がっていくはどうか。

低学年が広い校舎の端から端に行くのは大変。動線についてよく考える必要がある。移動に時間がとられる。特別教室などは複数あつたりするのも良いか。

エレベーターの検討も必要か。

理想はたくさんあると思うが、その中で優先順位を明確にして進まないといけない

スクールバスの検討とあわせてロータリーの検討を

学童の敷地の確保も検討を行う。

屋上の有効活用も考えられるか。小学生の遊具を共有スペースに置くことで交流が生まれるか。

多目的スペースなどは共有スペースとして良いと思う。小中を超えた交流の場になる。

多くの教室を真ん中にするのが理想だが、優先順位や動線を考え、小さい子供が行きやすいことを意識する必要がある。

フロアは大きいものを作ったうえで、人数の変動にあわせてパーテーションで柔軟に大きさをかえるのはどうか。

企業などをみると共有スペースは真ん中にすることが多い。低学年と高学年のエリアを専用に近い形で分ける。専門的なものは分かれ共用は真ん中に

コの字型の校舎だとバルコニーに出て向かい合って歌を歌うなどしている。

地面を掘って地下を活用するという考え方もあるか。

保護者が送迎した場合に学校で車をつける場所を検討する必要があるか。他の児童の安全の確保が必要。学童についても同様

通学路について

通学が遠くなる地区は、遠いのと道中の危険を懸念している保護者が多い。特に低学年など小さい子供への配慮をお願いしたい。

冬場は朝晩がくらいので、明るくするための設備等の整備をお願いしたい。歩道と車道の幅の確保、ガードレールの整備をお願いしたい。

現在の学区でさえ低学年の足で端から歩くのは大変

武津、細久保などは学区がハードルとなって、若い世代が流出していることもある。そうならないような工夫を

上社線の信号と校舎の入り口を変えるべき。信号が短い

例えばスクールバスを利用するなどを希望する意見が大半である。

不審者情報の共有

危険個所のマップを小学校で作って共有してもらっているが、特に低学年や転入者に共有をお願いしたい。

通学路が通勤者と時間が重なるが、子供たちが信号のない道を行くが、大人も同じ道を通るので危険。

歩道が老朽化している箇所もあるので、学校の整備とあわせて道路の整備も。新たな動線を前提に整備する範囲の検討をする。

小中の格差について

その他

小中で給食の量が違う。大きな学校となると栄養士の配置などの検討が必要か。

中洲小学校の跡地利用を考えると、体育館や児童クラブの建物、広いグラウンドなどは活用できるか。南中の敷地では難しければ、跡地の活用の検討を

跡地利用もセットで考
える

建物だけでなく周辺の整備も必要か